

平成30年1月16日

東部農林振興センター松江農業普及部

標 題	だんだん営農塾キャベツコースで初市見学
-----	---------------------

(ダイジェスト)

平成30年1月5日(金)、就農前の基礎研修であるだんだん営農塾キャベツコースで卸売市場の初市を見学しました。初めて見る市場や競りを、塾生二人は驚きながら熱心に見学していました。

だんだん営農塾キャベツコースは6月の開講から毎週1回、塾生に対して実習を中心としたキャベツ栽培管理の講習を行っています。ほ場準備から始まり、定植や追肥、除草、収穫、調製など、一連の作業を学んできました。

新年最初の講習として、出荷後の農産物の動きを学ぶために松江連合青果と松江合同青果の初市を見学しました。どちらも競りにかけられる農産物は多くなかったものの、塾生二人は競りを見るのは初めてだったため、市場職員や営農塾講師に質問しながら熱心に見ていました。また競り前に市場内も見学し、入荷された農産物の産地や種類などについても確認していました。それぞれの初市の様子は以下のとおりです。

○松江連合青果 初市7時～

連合青果は県外からの転送物が多く、市場内の農産物も相対取引が済んだものも多くありました。当日の傾向としては、葉菜類は入荷量が少なく高値で、すだちや大葉、飾り菊などの小物がほとんど入っていませんでした。

○松江合同青果 初市7時半～

合同青果は地元産の農産物が入荷が多く、競りにかけられる荷も連合青果より多くありましたが、品薄傾向なのは同様でした。季節的に需要が高まるセリも年末の風雪で葉が痛み出荷できない農家が多いこともあり、高値で取引されていました。



〈市場内の見学〉



〈連合青果の初競り〉